

川崎市看護協会ニュース

Vol. 115
 会員数 3,129人
 (令和7年1月1日現在)

**Kawasaki
 Nursing
 Association
 NEWS**

CONTENTS

- ・ 新年のご挨拶 1
- ・ かわさきケアデザインコンソーシアムに参画 1
- ・ 活発になる地域での活動 2
- ・ つながる看護・交流会・イベント報告 3
- ・ 受賞おめでとうございます 4
- ・ 「第4回おせっかいナースの会」開催報告 4
- ・ 広報委員が往く、働く看護の職レポ 4
- ・ 多職種で強みを活かす、オーラルフレイル予防 5
- ・ 認知症の方への対応に迷ったら 5
- ・ 看護研究・活動報告会開催！ 5
- ・ 研修のご案内 6
- ・ 看護協会からのお知らせ 6



公益社団法人

川崎市看護協会
Kawasaki Nursing Association

〒211-0067 川崎市中原区今井上町1-34 和田ビル3F

TEL.044-711-3995

https://www.kawa-kango.jp/

FAX.044-711-5103

E-mail:mail1@kawa-kango.jp



新年のご挨拶

2025年の年頭にあたり
 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市内看護職の皆様におかれましては、療養者に寄り添った的確な看護の実践にご尽力されておられますことに、心から感謝申し上げます。

皆様「川崎市看護協会があつてよかった」と言っていたためにどんな活動を行うのか、労働環境の改善をはじめ、人材の確保と定着、災害時の看護支援、看護による地域貢献、看護と地域の連携等のテーマで、各委員会と共に一生懸命に考えて、新たなことへの挑戦を続けています。どの委員会も、地域に根差した素晴らしい活動を展開してくださり、心よりお礼を申し上げます。他の地域にはない市レベルの看護協会。会員の皆様とともに、今年も川崎市看護協会らしい取組を進めてまいります。今年一年、皆様にとって一層の飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。



堀田 彰恵 会長

市内看護・医療関係団体や、県看護協会とのつながりを大切にしています。昨年、県看護協会の皆様との意見交換での一コマ



かわさきケアデザインコンソーシアムに参画



「プロジェクト CHANGE」は、ケア領域における新事業創出を支援する共同事業体として「かわさきケアデザインコンソーシアム」を立ち上げ、11月6日にキックオフシンポジウムを開催しました。

ケア現場・企業・社会が一体となって、未来のケアを快適にし、看護職の労働環境改善にもつながる取組が加速することが期待されます。このコンソーシアムで、川崎市看護協会は、リアルな看護現場のニーズを伝える役割を担っていきます。



川崎市幸区で行われたキックオフシンポジウムの様子

..... 古屋理事がみた 能登半島地震の今

川崎市社会福祉協議会主催の大学生を対象とした「能登半島地震復興支援川崎青少年復興応援隊」の救護係として、28名の大学生と社協職員5名と共に9月3日から2泊3日、現地視察や地元の子供達に遊び場支援活動を行いました。

輪島市内視察では、横倒れの店舗や火災が発生した輪島の朝市周辺がそのまま残っており、発災後8ヶ月経過しても復興とは程遠い状況でした。非日常のような光景の中、小学生が元気に下校している姿を見て複雑な心境に至りました。

遊び場支援は、抑圧された状態が続く精神的不調をきたす子ども達が笑顔になれる場所を提供することを目的に、学生達が子ども達とふれあい全力で遊び、参加した子ども達と共に笑顔で怪我無く楽しむことが出来ました。

今回の活動を通し、首都圏で同様の地震が発生した場合、地方とは違い外国人

が多く、近隣住民との関係性も希薄であることから、情報の共有やアナウンスをどの様に行うかとても大きな課題であると感じました。

また、ボランティアには様々な活動があり、必要な時に必要な支援を行うこと、災害時は被災者もゲストではなくキャストとしてみんなで役割を担い乗り越えていくことも重要だと感じました。被災地の方が、ボランティアや視察に来ることを、「うれしい、忘れず思いを馳せてくれることに感謝している」という言葉がとても印象に残っています。

(会員委員会理事：古屋雅世 / 鹿島田病院)



活発になる地域での活動

災害・救護委員会

能登半島地震から一年、看護協会が行う災害対策とは

各区でのつながり

犬蔵小学校避難所開設訓練に参加 令和6年10月27日



災害ボランティアナースが視察を行いました



神保大士先生の講義

災害ボランティアナースたちもつながっています



高津区



幸区



宮前区

神奈川 J-MAT 活動検証会参加

川崎市医師会の声掛けで能登半島派遣チームに看護協会として参加しました。検証会では川崎市内団体の密な連携を実感しました。



フォロー研修

令和6年11月6日 場所：川崎市ナースセンター

能登半島地震の医療支援に参加した「災害時看護支援ボランティアナース」から支援の実際と課題を聞き、その後グループワークを行いました。意見交換では平時からの啓発活動・地域との連携の必要性を再確認できました。

参加者：28名（災害・救護委員会）



備えるフェスタ in 新百合ヶ丘

令和6年12月7日 場所：新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキ

冬晴れの新百合ヶ丘駅、防災について学べる「備えるフェスタ in 新百合ヶ丘」が開催されました。川崎市看護協会ブースは手洗いチェッカー体験を災害時看護支援ボランティアナース達と実施し、325名のお客様が来場されました。

ブース参加者の声

避難所でウエットティッシュを正しく使う事の大切さを実感してもらえたと思いました。市民の方も『ウエットティッシュでも汚れがちゃんと取れるんですね』と驚かれていました。(江原良子)



つながる看護 - 交流会・イベント報告 -

看護連携推進委員会

看護職同士で!!

「看護サマリーに記載して欲しい情報とは」開催報告

令和6年9月18日
場所:川崎市医師会館

報告会では看護連携推進委員会が、令和2年から検討を重ねた看護サマリー記載情報を「受け取る側の声」としてまとめた「記載してほしい情報」について、委員の訪問看護師と病院看護師が報告し、作成中の「報告書(案)」も配付しました。交流会は、報告を受けて各々の職場の取組や「看護サマリー」について活発な意見交換がされ、アンケートの回答者全員が「とても良かった」「良かった」との回答と、「訪問看護師又は病棟看護師と話ができ、それぞれの現場での実践がイメージできて良かった」との感想を多く頂き、満足度の高い交流となりました。また、17名が参加された日本医科大学武蔵小杉病院からは、報告会での学びを各病棟で

の実践につなげているとの報告も頂きました。現在、「看護サマリーに記載してほしい情報」をまとめた看護連携推進委員会の活動報告書の完成を目指して取組んでおり、今年度末には協会ニュースと共に各機関へ配付予定です。
(看護連携推進副委員長:行田菜穂美 / 聖マリアンナ医科大学病院)

川崎市内看護職 80名が参加
・病院 47名
・訪問看護ステーション 28名
・川崎市役所 5名



看護連携推進委員会メンバー

会員委員会

会員同士で!!

会員交流会 - VR/AR体験と見学 -

令和6年10月25日・11月15日
場所:メトロニック・イノベーションセンター
ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)

看護協会とプロジェクト CHANGE でつながりのあるメトロニック・イノベーションセンターとナノ医療イノベーションセンターを訪問し、最新のVR/AR技術の体験や見学会の他、参加者同士で交流会を行いました。2日併せて22名、20代~70代の幅広い年代の方が参加しました。



CTを3Dに映し出すことで血管や神経が分かりやすい!



スワイプすると360°どんな角度からでもみることができます



科学技術の進歩に驚き、実際に活用されていることや、今後どう活かしていくかなどの課題も分かりました。研究者の介入によって、看護現場の問題点が明確になり改善することができた事例もあり、今後も工学研究等との共同の取組は有意義であると思いました。特に新人看護師には良い刺激になったのではないかと思います。参加者が一緒に行動する中で声をかけたり話す機会もあり交流ができました。

(会員委員会:高山富恵 / 南野川助産院)

人材確保・定着推進委員会

進学・就職・復職の方と!!

KAWASAKI看護の魅力発見フェア

令和6年11月3日 場所:川崎市立川崎病院

制服姿の中・高生から、授業でもらったチラシを手にした看護学生さんなど、多くの学生さんや離職中の看護職の方が参加されました。

シンポジウム

市内で働く活躍の場についてお話



どの場面でも皆さんが笑顔で看護を語っている姿が印象的でした。終始笑顔溢れて、フレンドリーに様々な領域の方達と看護を語り合う素敵な時間でした!

(広報委員:荒井里美 / 帝京大学医学部附属溝口病院)

看護体験

模擬患者を用いて実践

挿管介助の体験や実際の人工呼吸器や電子カルテに触れてみるなど、看護学校ではできない経験に学生さん達の人気ゾーンになっていました。



子どもたちと!!

子どもがつくるまちミニたまゆり

令和6年11月17日 場所:田園調布学園大学

田園調布学園大学が企画運営するイベント、『ミニたまゆり』に初参加しました。

静脈注射体験

スポンジに描いた血管に注射



白衣を着て『問診・静脈注射・創処置』を体験。19名の子供たちには修了書をプレゼントし「ぜひ看護師目指してね!」と未来の人材確保に貢献できた気持ちになりました。

(人材確保・定着推進委員会委員長:森本順子 / 川崎市立多摩病院)

受賞おめでとうございます



神奈川県保健衛生表彰知事表彰
井上 ふみ子さん
(川崎市立多摩病院)



母子愛育会会長表彰
南端 慶子さん
(こども未来局
児童家庭支援・虐待対策室)



日本家族計画協会会長表彰
丹羽 純子さん
(総合高津中央病院)



神奈川県公衆衛生協会会長表彰
前村 里美さん
(中原区役所高齢・障害課)



川崎市保健衛生功労者表彰
藤原 実香さん
(川崎市立川崎病院)



川崎市保健衛生功労者表彰
本館 教子さん
(聖マリアンナ医科大学病院)



川崎市保健衛生功労者表彰
本山 純子さん
(日本医科大学武蔵小杉病院)

川崎市市制100周年記念表彰 市政功労賞
個人 林 リツ子さん 高橋 恵さん
団体 川崎市看護協会

看護自主活動 支援助成事業

「第4回 おせっかいナースの会」開催報告

今回は、1歳のお子様を連れてご夫婦、80代のご夫婦など、幅広い年齢層の方が参加してくれました。施設で生活をされている方、2回目の参加の方もおられました。

人生最終段階において「自分が何を大切にしたいのか」、普段の生活では考える機会がないかと思えます。だからこそ、おせっかいナースの会の交流会を通して、「今の自分、これからの自分」について考えるきっかけになればと願っています。

今回は、今回も笑いあり、涙ありの、アットホームな交流会となりました。

参加者の皆様との出会いに感謝しております。

(おせっかいナースの会代表：藤井真樹)



広報委員会

広報委員が往く、働く看護の職レポ

・多様な働き方を尊重・ 療養型病院 医療法人社団育成会 鹿島田病院

※広報委員が市内を往來し看護職をレポートする『広報委員が往く、働く看護の職レポ』が連載開始!病院から介護施設まで!市内の様々な看護の現場を紹介します。

看護職の働き方の多様性を取材するために、川崎市幸区にある療養型病院の鹿島田病院に協力して頂きました。療養型病院の特徴として、吸引やCV管理など、医療依存度が高く、施設入所が難しい方が長期入院する場所となっています。

流れで看護が可能な環境だと感じました。世の中には数多くの潜在看護師がいますが、「忙しい急性期はちょっと…。でも看護師として復帰したい。」という方には療養型病院もおススメだと感じました。



古屋看護部長へインタビュー

多職種との連携

鹿島田病院では、多職種連携に力を入れていると感じました。取材当日は安全委員会の日だったのですが、委員会は看護師だけでなく、介護職の方なども参加して多職種で委員会を進めており、大変驚きました。



多職種で委員会

ライフワークバランスの尊重

看護部長のお話では、ライフワークバランスに力をいれており、子育て世代でフルタイムワークが難しい方への配慮として、フレックスやパートも柔軟に対応しているというお話でした。

療養型という急性期と違った比較的ゆったりとした時間の

抱える課題とは

一方で新卒者がいつでも入職できる訳ではないため、看護職の採用活動は中途採用に依存する部分が大きく、直接の相談が少ないことが一つの課題となっており、人材紹介会社に頼らざるを得ないのが悩みの種だと感じているそうです。その他として、腰痛対策は必須といったお話も伺いました。様々な理由から看護の現場への復帰をお悩みの方は、療養型病院という選択肢を一度考えてみるのも良いかもしれません。

川崎市看護協会では就業相談も随時対応しているのので、直接病院に問い合わせをする事に躊躇されている方は、お気軽にご相談ください。

(広報委員：八木下泰弘 / 日本鋼管病院)

特別企画

多職種で強みを活かす、オーラルフレイル予防
特別企画 多職種チームで誤嚥性肺炎予防研修開催報告

令和6年10月3日(木)
場所：川崎市ナースングセンター

令和6年度診療報酬改定で「重症化予防」が盛り込まれるなど、オーラルフレイル予防が注目されています。

歯科医の視点

昭和大学歯学部主任教授
古屋 純一 先生



古屋先生のご講義では、「食べることは生きること」食べることで自浄作用が働く、食べないことで口腔内衛生を保てず食欲減退するという負の連鎖について学びました。予防の自主トレーニングは大切ですが、人の目がないと手を抜いてしまうのも人であること、そういった人を支えるのが私たち医療者や家族であると学びました。

また看護師が口の異常を早期に発見し、医師へ報告することで歯科と連携した医療を行うことが可能となるため、看護師の役割が重要であると知りました。

看護のポイント

川崎市立井田病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師
川村 安希 先生



食べられなくなるその時まで、楽しみながら食事をするために支える大切さを実感し、予防的なリハビリテーションやポジションなど、実践について教えていただけました。リクライニング位での姿勢のポイントは、図でわかりやすかったです。

嚥下障害を回避するために

川崎市立井田病院 栄養士
亀山 亜希夫 先生



低栄養による嚥下障害リスク回避のためには、個別の栄養療法ができるように栄養士との連携を行い、ギアチェンジしていく必要性が学びました。今回3職種の方の講義を受け、多職種での強みを活かし共に学び共に支えることが大切だと学ぶことができました。

(広報委員：川向幸乃 / 関東労災病院)



引用先：株式会社ヘルシーネットワーク

認知症の方への対応に迷ったら...
認知症対応力向上研修開催報告

令和6年10月31日・12月7日
場所：川崎市ナースングセンター

認知症ケア上級専門士の平田祐子先生をお招きして認知症の基本的な知識から対応方法、川崎市の社会資源など様々な角度から認知症について理解を深めることができる内容となっています。参加者からは「講義内容が濃くて夢中になって聞けた」、「改めて認知症について学び直す貴重な機会となった」と感想を頂きました。認知症に関して新たな知識や今までの自分にはなかった考え方・対応法のヒントを得たい方、改めて学びたいと思われる方にオススメしたい研修となっています。

(広報委員：茂崎菜里 / 麻生区役所地域みまもり支援センター地域支援課)

介護老人保健施設
都筑ハートフルステーション
平田祐子先生と参加者



おさえておきたい！ キーワード！

相手の人生や大事にしてきたものを知ろうとすることが大切

アルツハイマー病の治療薬「レカネマブ」の登場

認知症は状態を表すため、「認知症の人」ではなく「認知症をもつ人」との表現が良い

認知症でもできることはたくさんある

教育委員会 看護研究・活動報告会 開催！

病院・クリニック、訪問看護ステーション・委員会から幅広い内容の看護研究・活動報告19演題が揃いました。会場やWebで大いに意見交換をし、川崎看護の学びを共有しましょう。

対面・Webハイブリッド開催です！

✓看護研究 全9題

- ・ICUにおけるせん妄発症の現状把握
- ・外来看護師の患者接遇の現状 他

✓活動報告 全10題

- ・新卒から訪問看護師を育てる
- ・地域と支え合う災害時透析医療 他

日時：令和7年2月27日(木) 9時30分から
場所：川崎市ナースングセンター
申込：HP内「研修について」よりお申込ください。

研修のご案内 (詳細は協会ホームページをご覧ください)

研修名	日数	開催日	受講料
心不全患者のセルフケアを支援する看護	半日	2月13日(木) 13:30~16:00	会員 1,000円 非会員 4,000円
※看護研究・活動報告会	1日	2月27日(木) 9:30~16:00	無料

※対面/オンラインハイブリッド開催

あなたの「看護のあったらいいな」教えてください

- >血管が見える眼鏡・採血しなくても結果がわかるようになったらいいな!
- >手術室で使う器械がどこにあるのかひと目でわかるようになったらいいな!
- などなどあなたの思うアイデア大募集!

いただいた情報はプロジェクト CHANGE で実現に向けて検討や研究開発に役立てていきます。
回答者の中から抽選で QUO カードプレゼント!



会費について

12月にお手元にお送りした「会費納入のご案内」はご覧になりましたか?川崎市看護協会の会費の支払いが郵便振替・コンビニ払いの他に口座振替も選択できるようになりました。

※まだまだ会員募集中!
お友達もお誘いの上、看護協会を引き続きお楽しみください。



特別なお知らせ

協会員の皆様へ日頃の感謝として、株式会社ホリプロさんより舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の特別優待チケットをご用意致しました! 詳しくは協会 HPよりお問い合わせ下さい。



男性トイレリニューアル!

男性トイレがリニューアル! 洋式になりました。川崎市看護協会に立ち寄った際にはご利用ください。



看護の知りたい!をお届け! 川崎市看護協会 連絡メール登録案内

看護や医療などに係わる情報をタイムリーに携帯電話やパソコンにメール配信を行うシステム (SpeeCAN RAIDEN for ビジネスプラス) を導入しております。ぜひ登録いただきますようご案内申し上げます。

※二次元コードの読み取りができない方は 01.kawasaki-na@raidan2.ktaiwork.jp に空メールを送信してください。

研修・講演案内
イベント情報
看護協会ニュース
その他看護医療に
関する最新の情報
をお届け



Instagram



Instagramはじめました!

研修や交流会、主催イベント、看護協会ニュースをはじめ、色々な情報をお届けします。

- ・こんな情報があったらいいな
 - ・看護現場のあるあるを知りたい
- など Instagram で取りあげて欲しい内容があったら協会ニュースアンケートを通じて教えてください。



KAWAKANGO

広告

人間工学に基づいたまくら

コンフォートピュディ

Comfortpude®

- ◆首のためのまくら
- ◆お好みで2つの高さを
使い分けできます



お試し
できます

お問合せの際は...
【川崎市看護協会ニュースを見た】
とお知らせください

価格20,000円

東洋羽毛首都圏販売株式会社
横浜営業所

TUK 東洋羽毛

0120-007-663

お問い合わせ、ご注文は...

こちらの二次元コード又はお電話で



アンケートに答えてQUOカードをもらっちゃおう!

ご意見・ご感想等、簡単な質問に答えて応募してください。
応募された会員の中から抽選で3名の方に1,000円分のQUOカードを差し上げます。
※締切は3月末日までです



こちらから



編集後記

季節の移り変わりも肌を感じつつ忙しい毎日です。ウィルス感染症も流行する季節となってきますので皆さまの健康をお祈りいたします。

広報委員一同